

『新渡戸の夢～学ぶことは生きる証～』 上映会とティーチインを開催

【概要】

北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニットは、2026年7月26日（日）に映画上映会とティーチインを開催します。上映作品『新渡戸の夢～学ぶことは生きる証～』は、札幌農学校第2期生の教育者、新渡戸稲造が妻メリーと共に1894年に創設した「遠友夜学校」をテーマにした作品です。上映会終了後、北海道に夜間中学をつくる会共同代表の工藤慶一氏と北海道大学名誉教授の藤田正一氏をお招きし、誰もが学ぶ権利がある社会の実現と、そのための大学の役割をテーマに、解説を交えたディスカッション（ティーチイン）を行います。

【趣旨】

リカレント教育は、一度学校教育を終えた後も、必要に応じて再び学校に戻り、仕事と学習を繰り返す、教育のしくみです。

北海道大学では、社会のニーズを踏まえ、総合大学としての特色や美しいキャンパスを活かし、ICTの活用や企業・自治体等との連携を通して、高度で多様なリカレント教育プログラムを提供しています。私たちは、北海道大学のリカレント教育の源流を、新渡戸稲造が試みた「遠友夜学校」に求めることができると考えています。本企画の趣旨は、上映会とティーチインを通じて北海道大学のリカレント教育の取り組みを周知し、リカレント教育や「誰もが学ぶ権利のある社会」について市民の関心を高めることです。

【日 程】 2026年7月26日（日）13時00分～15時40分（開場：12時30分）

【場 所】 北海道大学学術交流会館講堂（札幌市北区北8条西5丁目）
JR札幌駅北口より徒歩10分

【主 催】 北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニット

【共 催】 新渡戸の夢映画制作委員会

【協 力】 北海道大学社会共創部広報課

【後 援】 札幌市教育委員会・北海道教育委員会

【対 象】 一般市民（どなたでも参加可能）

【募集人数】 300人（事前申込制・先着順）

【参加費】 無料

【言 語】 日本語

【プログラム】 13時00分～13時05分 開会挨拶 川本思心（北海道大学教育イノベーション機構リカレント教育ユニットユニット長）

13時05分～14時40分 上映会『新渡戸の夢～学ぶことは生きる証～』

14 時 50 分～15 時 30 分 ティーチイン 工藤慶一氏・藤田正一氏・川本思心
テーマ：「すべての人に学ぶ権利がある社会と大学の役割」
司会：種村 剛（北海道大学教育イノベーション機構リカレント教育ユニット 特任教授）

15 時 30 分～ 閉会挨拶

【申込方法】 以下の申込フォームより、7 月 24 日（金）正午までにお申込みください。
<https://forms.gle/9UDVbLRhUgHYyHy96>



お問い合わせ先

北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部 特任教授 種村 剛（たねむらたけし）

T E L 011-706-5252 メール tanemura@grad.hokudai.ac.jp

U R L <https://reh.grad.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

新渡戸稲造

(にとべいなぞう)

写真提供：盛岡市先人記念館

ドキュメンタリー映画

新渡戸の夢

まなぶことは生きる証

にとべ

ゆめ

新渡戸稲造が明治時代に始めた「遠友夜学校」
学ぶ喜びと教える優しさにあふれる教育は
今もその地で脈々と受け継がれている。

東京都推奨映画

上映会と ティーチイン

北海道大学の遠友夜学校の伝統から
学びに開かれた社会を構想する

上映作品『新渡戸の夢～学ぶことは生きる証～』は、札幌農学校第2期生の教育者、新渡戸稲造が妻メリーと共に1894年に創設した「遠友夜学校」をテーマにした作品です。

上映会終了後、工藤慶一さんと藤田正一さんをお招きし、誰もが学ぶ権利がある社会の実現と、そのための大学の役割をテーマにしたディスカッションを行います。

日時：2026年7月26日(日)

ほっかいどうだいがくがくじゅつこうりゅうかいかんこうどう

会場：北海道大学 学術交流会館 講堂

(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

正門より入って左側2棟目・JR札幌駅北口より徒歩10分

参加費：無料/定員300名

開場：12:30

開会：13:00 閉会予定：15:40

事前申込 (先着順)

<https://forms.gle/9UDVbLRhUgHYyHy96>

申込期限：7月24日(金) 正午

※定員に達し次第、締め切らせていただきます



150th

HOKKAIDO UNIVERSITY

2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。



Recurrent
Education
Programs
in
Hokkaido
University

■主催：北海道大学教育イノベーション機構リカレント教育ユニット

■協力：北海道大学社会共創部広報課

■共催：新渡戸の夢映画製作委員会

■後援：札幌市教育委員会・北海道教育委員会

上映会プログラム詳細

- 12:30 開場(北海道大学 学術交流会館 講堂)
- 13:00 開会挨拶 川本思心 北海道大学 教育イノベーション機構 リカレント教育ユニット ユニット長
- 13:05 映画上映 『新渡戸の夢～学ぶことは生きる証～』
- 14:50 ティーチン 工藤慶一さん・藤田正一さん・川本思心
「すべての人に学ぶ権利がある社会と大学の役割」
司会:種村剛 北海道大学 教育イノベーション機構 リカレント教育ユニット 特任教授
- 15:30 閉会挨拶

—新渡戸稲造(にとべいなぞう)と「遠友夜学校」—

1862年(文久2年)~1933年(昭和8年)、享年72。現在の岩手県盛岡市、南部藩士・新渡戸十次郎の三男として生まれる。米国で出版された『BUSHIDO The Soul of Japan』(邦題:『武士道』)の著者として知られる新渡戸は、大学教授や学長を務め、教育者としての業績を残している。新渡戸が32歳の札幌農学校教授時代に、貧しくて学校に通えない人々のために妻メリーと始めたのが「遠友夜学校」である(1894年/明治27年)。生涯で唯一、新渡戸が創設した学校で、授業料無料・男女共学で年齢制限なしという当時としては画期的な学校であった。1944年(昭和19年)の閉校まで50年間で約1,170人が卒業し、富や名誉より人格形成を重んじた教育が行われた。

工藤慶一さん

(北海道に夜間中学をつくる会共同代表)

戦争の痕跡が残る旭川市で1948年に生まれ、ベトナム戦争真っ最中の北大に入学。中学で進学が叶わない友の一言で教育の在り方を変える志を持ち、退路を断つため1972年大学を中退。こうして札幌遠友夜学校の精神を継ぎたいと考え、1990年に札幌遠友塾自主夜間中学を開校。現在も札幌市立向陵中学校で週1回の授業を継続している。夜間中学に必要とされる法律も、60年に及ぶ関係者の働きかけで2016年12月教育機会確保法が公布され、札幌市立星友館中学が2022年に開校する。義務教育未修了者数が全国一多い北海道で、この行為は巨大な城門をこじ開けていく過程となる。支えは、遠友塾を卒業した人の言葉(遠友塾のことは忘れがたく、胸の内に抱きしめて生きてまいります!)と北大正門のそばに根を張った新渡戸夫妻が植えた大きな二本の榎の木の存在である。



藤田正一さん

(北海道大学名誉教授)

北海道大学第54代応援団長。1967年に北海道大学獣医学部卒業後、アメリカ留学。オレゴン大学にて生物学学士および修士号取得。1979年、アルバートアインシュタイン医科大学大学院博士課程修了、博士号(PhD)取得。明治薬科大学常勤嘱託、千葉大学薬学部助教授を経て1990年より北海道大学獣医学部毒性学教室初代教授。1999年、同大学、獣医学部長・大学院獣医学研究科長。2001年、北海道大学副学長、2003年、北大総合博物館長。2005年、平成遠友夜学校を創設し校長となる。2008年、北大名誉教授。2026年1月に『クラーク博士と新渡戸稲造 第1部 クラーク博士篇』、4月に『クラーク博士と新渡戸稲造 第2部 新渡戸稲造篇』を出版。専門は薬物代謝学、環境毒性学。



がくもん じっこう “学問より実行”

新渡戸稲造が1931年、遠友夜学校を訪れた際に残した教育方針



写真提供:北海道大学図書館

! 研究と共に、人の新たな可能性を開拓する

Unit for Recurrent Education, Center for Educational Development, Institute for Academic Innovation
北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニット
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 E-mail: Reh-office@grad.hokudai.ac.jp https://reh.grad.hokudai.ac.jp/

リカレント教育ユニット
WEBサイト

